

今年の冬も「晴れの国おかやま」に雪が降りました ～積雪時の対応の様子～

令和7年3月10日



「晴れの国おかやま」でも道路に雪が積もることがあります。

2月は全国的に10年に一度の低温となり、岡山県の県北では道路に積雪がありました。

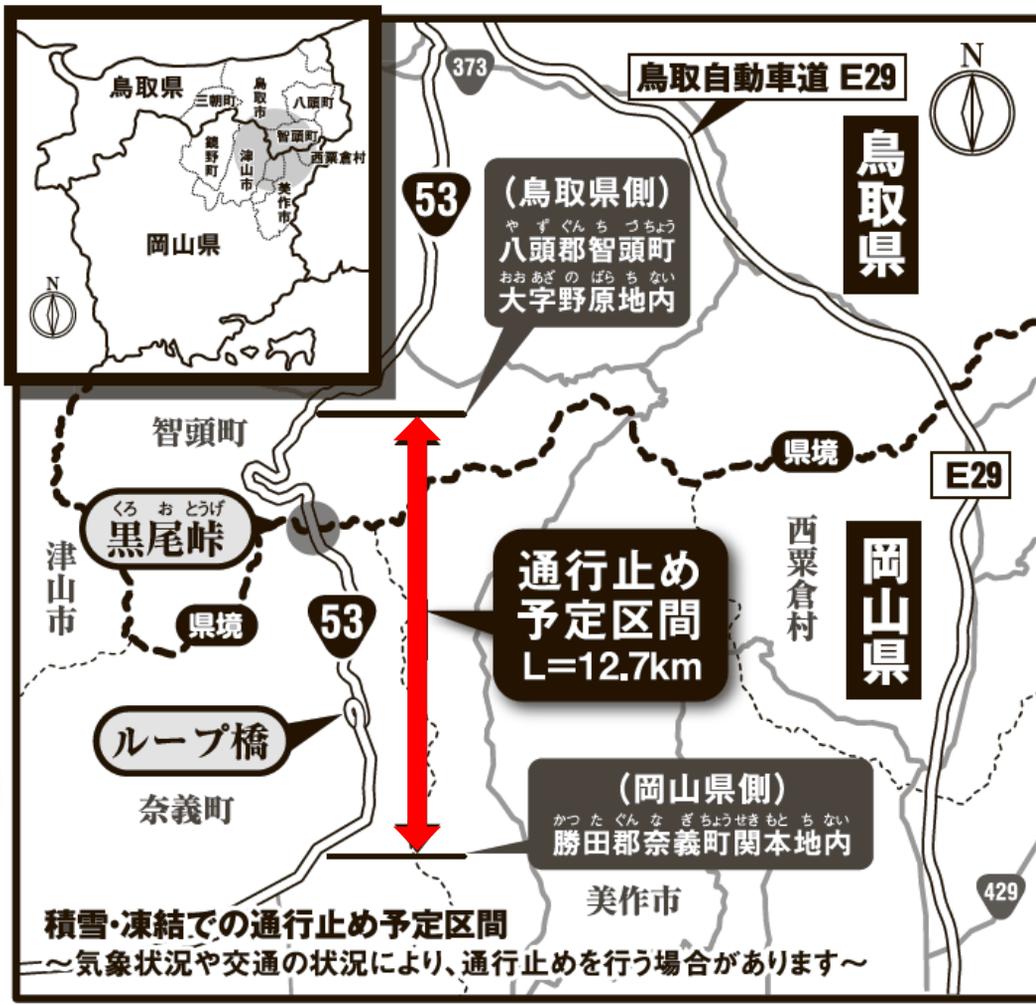
今回は、冬場の道路の安全を守るための、積雪時の対応の様子をお伝えします！



災害対策室でCCTVカメラ映像を監視している様子

気象状況や交通状況によっては、道路の安全を守るために24時間体制で防災体制に入ります。

上の写真は、岡山県の山間地の積雪状況をカメラで確認している様子です。奈義町だけでも30台のカメラが設置されていて、映像が切り替わって表示されています。



国道53号の岡山県勝田郡奈義町関本地内～鳥取県八頭郡智頭町大字野原地内にかけての12.7kmの区間については、積雪・凍結などの気象状況や交通の状況により、通行止めを行う場合があります。



その他にも、路面状況によっては、奈義町にあるチェーン着脱場で冬用タイヤ装着確認を行う場合があります。





スタック車両が発生した場合には、安全な場所まで移動させることもあります。

積雪時は坂が続く区間では、雪用タイヤの着用だけでなく、チェーンの装着が必要と感じました

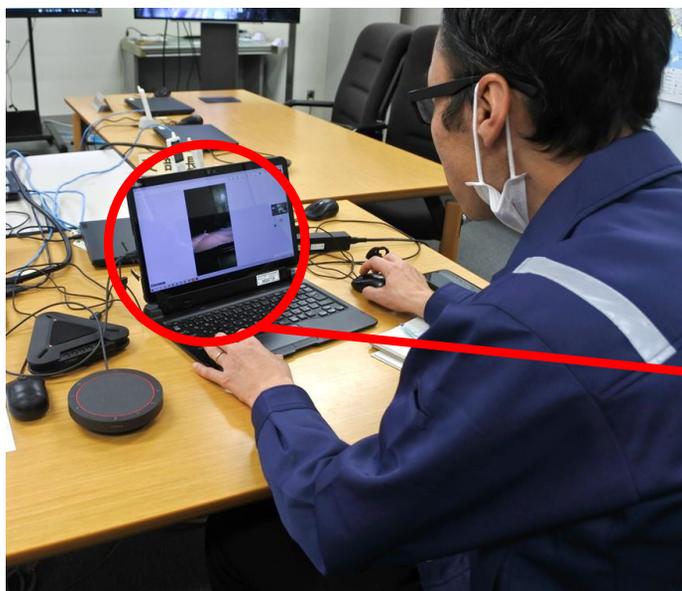


この日は、積雪に伴う対応のため、岡山国道事務所より職員が奈義の除雪基地へ出発しました。



事務所では、現地からの情報収集や、現場への指示を行います。

また、必要に応じて路面情報や交通情報をXや記者発表資料で公表します。



現地へ向かう職員の車に携帯電話を装着し、テレビ電話を通して現地の様子をリアルタイムで確認できます！

車に取り付けた
携帯電話からの映像



路面の状況を確認している様子です。

こうしたカメラや現地からの情報、気象情報を元に、薬剤の散布や除雪のタイミングの指示を行っています。

まだまだ雪が降る可能性がありますので冬用タイヤ・タイヤチェーンは装着・携行したままでお願いします。

峠部にお出かけの際は、道路状況の確認も忘れずに！

